

ドイツ・フランクフルトで開催されたformnext2016に出展

2016年11月15日(火)～18日(金)までドイツのフランクフルト国際見本市会場(Messe Frankfurt)でformnext2016が開催され、ハイブリッド金属3Dプリンタ**LUMEX Avance-25**を出展しました。この展示会は、工具製作や加工技術、3Dプリンタを中心とした最先端技術が集う国際見本市で、2015年に第1回が開催され今回が第2回目の開催です。今回307社(前年比51%増)が出展し、約13,000人(前年比49%増)の来場があり、2015年の初回開催に比べ、出展社及び来場者が大幅に増えています。

◆欧州では3Dプリンタが実用レベルに

欧州委員会では、2014年1月に発表した産業政策文書の中で、3DプリンタをEUが優先的に投資する分野の一つとして今後推進の対象としています。また2016年5月に開催された欧州会議では、戦略的3Dプリンタ技術の確立が宣言され、具体的な方策を検討し欧州の技術的優位性を確保できるとしています。ドイツ連邦経済エネルギー省(BMWI)によると、ドイツにおける3Dプリンタ関連企業は1,000社あります。また米国のウォーラーズ・レポートによると3Dプリンタ関連製品・サービスの世界市場は、2013年の30億ドルから2020年には210億ドルに増加する見通しとしています。正に3Dプリンタが実用レベルに入ろうとしています。そんな環境下で、切削と金属光造形が1台で行える複合加工機は、マツウラの**LUMEX Avance-25**だけであり、昨年以上に高い関心を集めていました。

◆会場とMEG社をインターネットで結ぶ

ドイツ・ヴィスバーデンにあるマツウラの子会社MEG社(MATSUURA Europe GmbH)に最新機種**LUMEX Avance-60**を設置しています。今回、マツウラブースとMEG社をインターネットで結び大型スクリーンに**LUMEX Avance-60**の稼動状況をライブ中継しました。展示会場とMEG社間のシャトルバスを運行し、興味を持たれたお客様は、MEG社で実機を見学出来る様にしました。

マツウラブースでは、V8エンジンブロックのサンプルを見て、“これ程大きなワークが金属3Dプリンタで作成できるのか”と多くの方が驚かれていました。欧州では3Dプリンタのメーカーだけでなく、3Dプリンタを使ってビジネスを行うサービスビューロが多く、自動車産業や医療分野で多品種少量生産への対応が進んでいます。マツウラでは、この展示会出展だけでなく、MEG社に技術者を駐在させて欧州市場への対応を行っています。



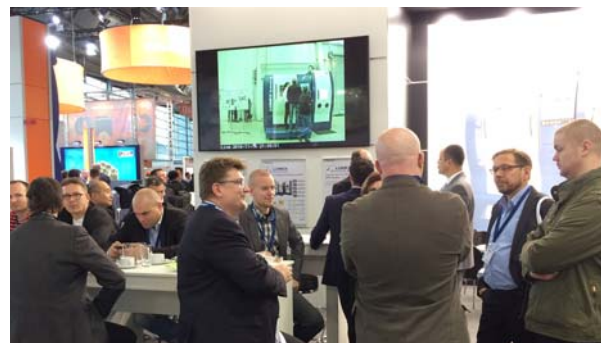
▲マツウラブースレイアウト



▲LUMEX Avance-25



▲注目を集めたV8エンジンブロックのサンプル



▲大型スクリーンとマツウラブース